【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公開番号】特開2000-339236(P2000-339236A)
【公開日】平成12年12月8日(2000.12.8)
【出願番号】特願平11-147680
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　13/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５１Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成16年7月20日(2004.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するメール受信システムであって、
　受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出手段と、
前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合は、該電子メールの送信元に対し、エラーメールを送信する処理手段と、
を備えることを特徴とするメール受信システム。
【請求項２】
　宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するメール受信システムであって、
　受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出手段と、
前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールを識別可能な情報を有した状態で前記受信ボックス宛てメールとして処理する処理手段と、
を備えることを特徴とするメール受信システム。
【請求項３】
　前記処理手段は、前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールの送信元メールアドレスに識別可能情報を付加して前記受信ボックス宛てメールとして処理する
事を特徴とする請求項２に記載のメール受信システム。
【請求項４】
　前記処理手段は、前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールのメッセージ内に送信先メールアドレスを付加して前記受信ボックス宛てメールとして処理する
事を特徴とする請求項２に記載のメール受信システム。
【請求項５】
　宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するメール受信システムであって、
　受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出手段と、
　前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列

であった場合、該電子メールの本文中に所定の文字列を有すれば、第１の処理を行い、有しなければ第２の処理を行う処理手段と、
を備えることを特徴とするメール受信システム。
【請求項６】
宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するメール受信システムであって、
受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出手段と、
前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールのタイトル中に所定の文字列を有すれば、第１の処理を行い、有しなければ第２の処理を行う処理手段と、
を備えることを特徴とするメール受信システム。
【請求項７】
宛て先アドレス内の所定箇所に暗号化された文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するメール受信システムであって、
暗号解読用の鍵情報を記憶する記憶手段と、
受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出手段と、
前記アドレス抽出手段が抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列を前記記憶手段に記憶された鍵情報を利用して解読する解読手段と、
前記解読手段により解読された文字列に基づく処理を行う処理手段と、
を備えることを特徴とするメール受信システム。
【請求項８】
宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するコンピュータにおけるメール受信方法であって、
前記コンピュータが、
受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出ステップと、
前記アドレス抽出ステップにより抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールを識別可能な情報を有した状態で前記受信ボックス宛てメールとして処理する処理ステップと、
を備えることを特徴とするメール受信方法。
【請求項９】
宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するコンピュータにおけるメール受信方法であって、
前記コンピュータが、
受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出ステップと、
前記アドレス抽出ステップにより抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールを識別可能な情報を有した状態で前記受信ボックス宛てメールとして処理する処理ステップと、
を備えることを特徴とするメール受信方法。
【請求項１０】
宛て先アドレス内の所定箇所に異なる文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するコンピュータに、
受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出ステップと、
前記アドレス抽出ステップにより抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列が所定の文字列であった場合、該電子メールを識別可能な情報を有した状態で前記受信ボックス宛てメールとして処理する処理ステップと、

を実行させるコンピュータに読み取り可能な記録媒体。

【請求項１１】

宛て先アドレス内の所定箇所に暗号化された文字列を有し、他の箇所が同じ文字列を有するメールを同じ受信ボックス宛てメールとして処理するコンピュータに、

受信した電子メールから宛先メールアドレスを抽出するメールアドレス抽出ステップと、

前記アドレス抽出ステップにより抽出した宛て先アドレス内の所定箇所の文字列を暗号解読鍵を記憶した記憶手段に記憶されている鍵情報を利用して解読する解読ステップと、

前記解読ステップにより解読された文字列に基づく処理を行う処理ステップと、

を実行させるコンピュータに読み取り可能な記録媒体。